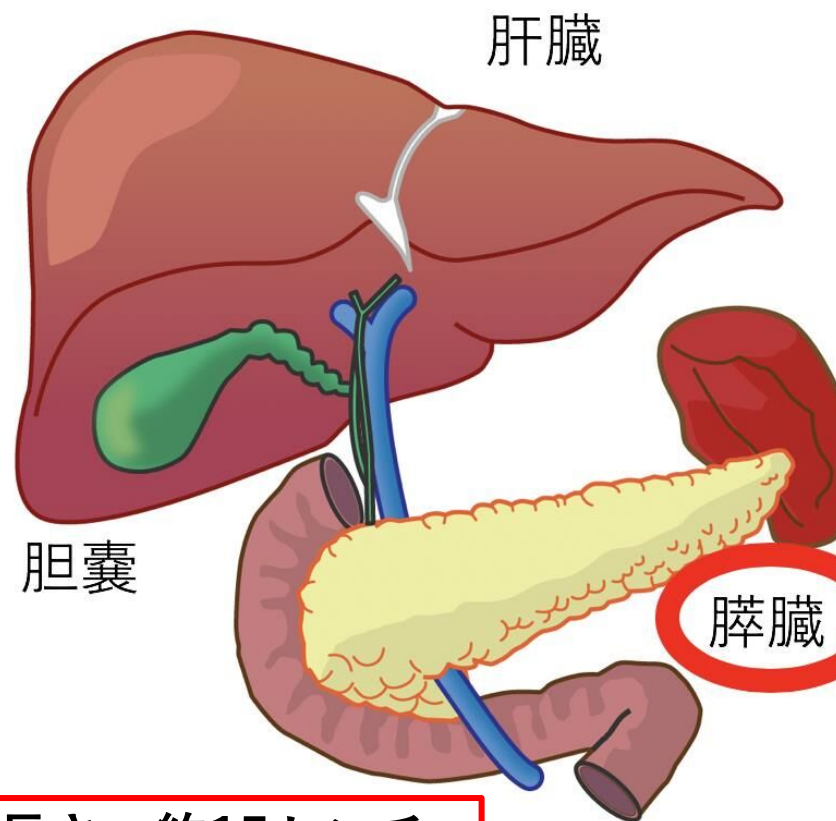
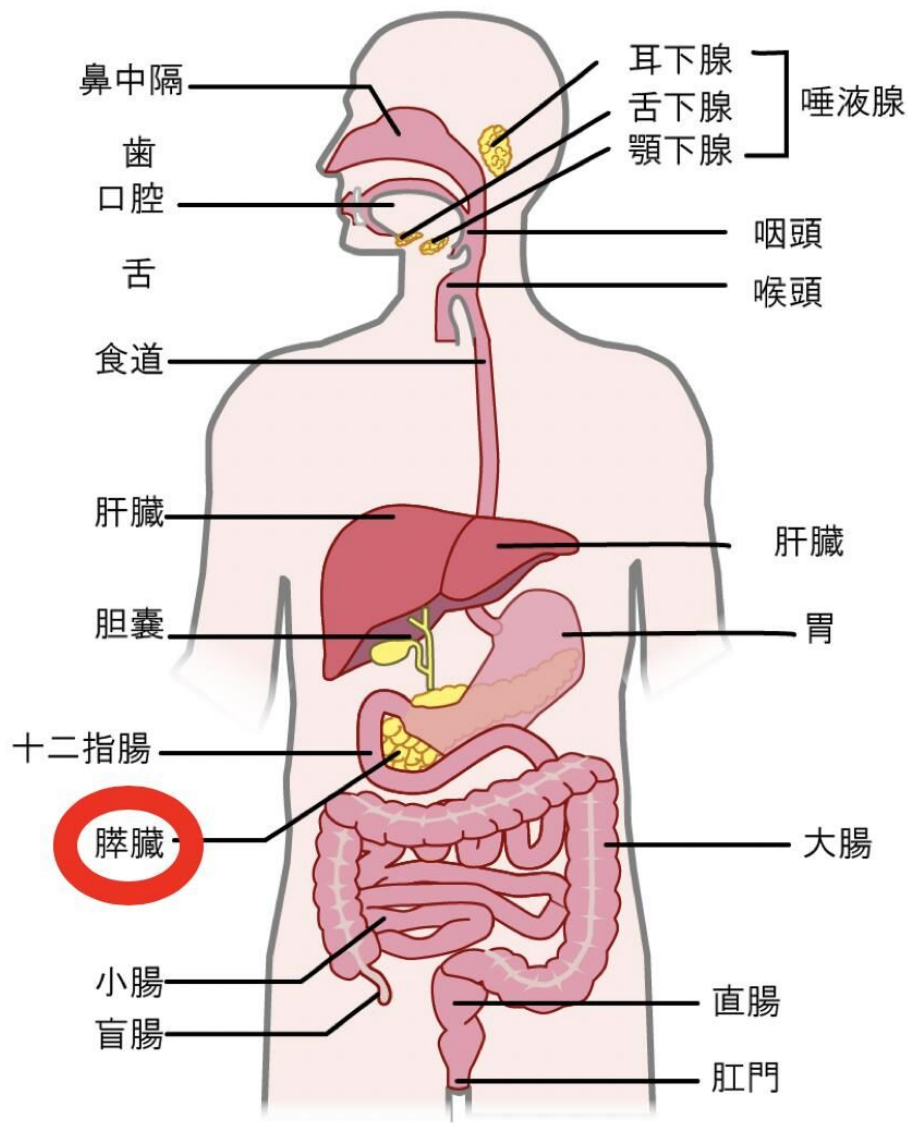


すい臓はどんな臓器？すい臓の病気について教えて ～セルフチェックと検査のお話～



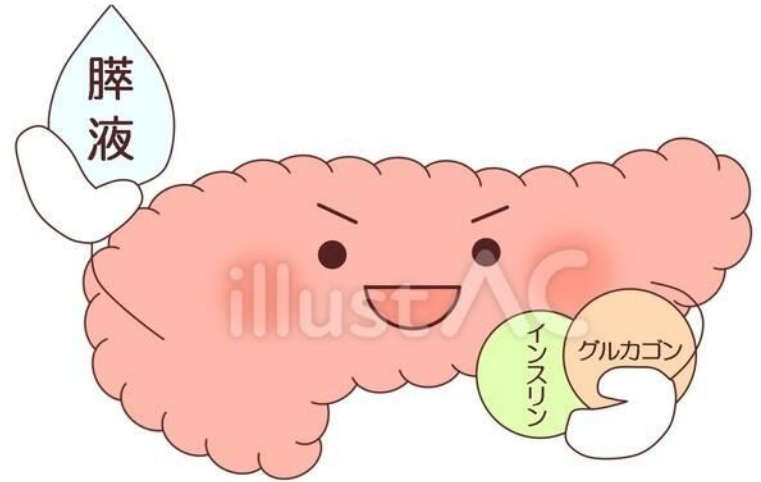
那覇市立病院 消化器内科
宮里賢

すい臓の位置



長さ	約15センチ
厚さ	約3センチ
重さ	約70グラム

すい臓の働き



1. 外分泌機能

- 膵液(すいえき)の分泌
- 1日1～1.5リットル
- 消化酵素(アミラーゼ、リパーゼ、 トリプシンその他)により食べ物の消化や吸収を助ける。

2. 内分泌機能

- インスリン:血糖値を下げる
- グルカゴン:血糖値を上げる



肝臓

膵臓の働き

血糖値の調整

グルカゴン

インスリン

成長ホルモン

ソマトスタチン

インスリン

グルカゴン

β 細胞

α 細胞

δ 細胞

ランゲル
ハンス
島

アミラーゼ
膵リパーゼ
トリプシン
キモトリプシン

消化酵素の分泌

膵臓

胆嚢

胆汁

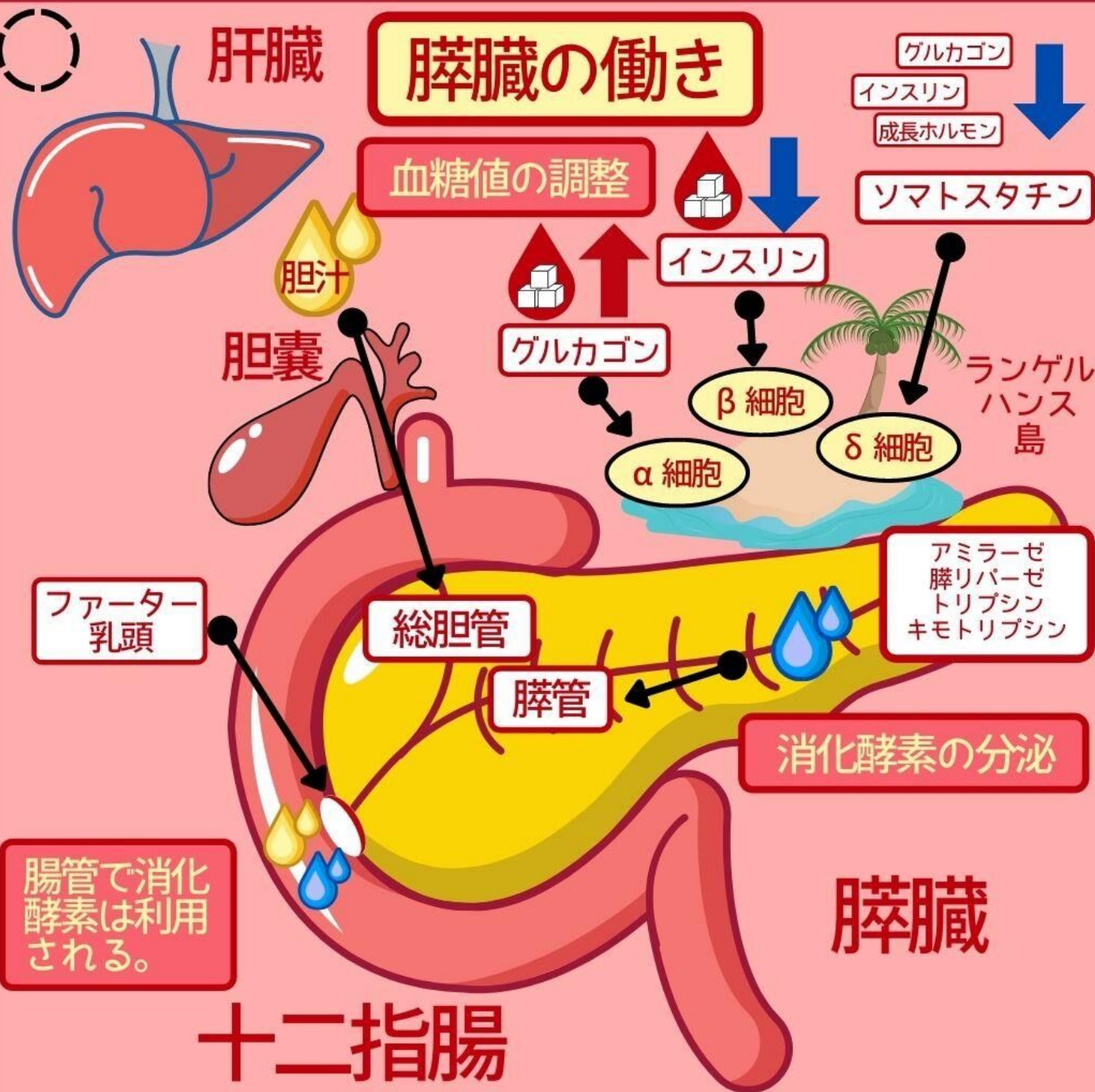
総胆管

膵管

ファーター
乳頭

腸管で消化
酵素は利用
される。

十二指腸



すい臓の主な病気

1. 急性すい炎

飲酒や胆石が主な原因で急に強い腹痛を起こす

2. 慢性すい炎

主に飲酒が原因となり慢性に痛みが続く

3. (がん以外の)腫瘍

神経内分泌腫瘍、のう胞(ふくろ状)性腫瘍

4. すい臓がん



すい臓がんの状況

(2023年)



- 罹患数(日本で1年間に診断される数)

男性 23,761人 ≒ 女性 23,779人

- 罹患率(人口10万人あたりの患者数)

男性 39.3人 ≒ 女性 37.2人

- 生存率

5年 男性8.9% 女性8.1%→12名に1人

10年 男性4.6% 女性4.8%→20名に1人

すい臓がんの危険因子

糖尿病



喫煙



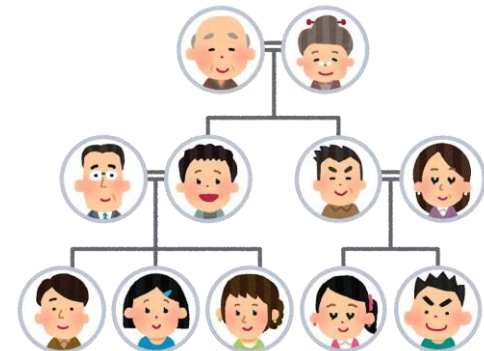
肥満(男性)



慢性すい炎



家族歴



すい臓がんの症状

- ・ 腹痛
- ・ 食欲不振
- ・ 腹部膨満(ぼうまん)感:おなかが張る感じ
- ・ 黄疸(おうだん):皮膚や白目が黄色くなる
- ・ 体重減少
- ・ 腰や背中痛み
- ・ 糖尿病の発症や悪化



すい臓の血液検査

- **膵酵素**(アミラーゼ、リパーゼ、トリプシン)

- **腫瘍マーカー**

APOA2アイソフォーム:すい臓がんの早期発見のマーカーとして注目

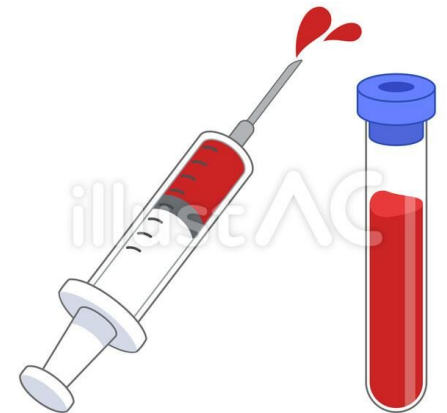
CA19-9

CEA

DUPAN-2

Span-1

すい臓がんの進行に伴い上昇



腹部エコー検査

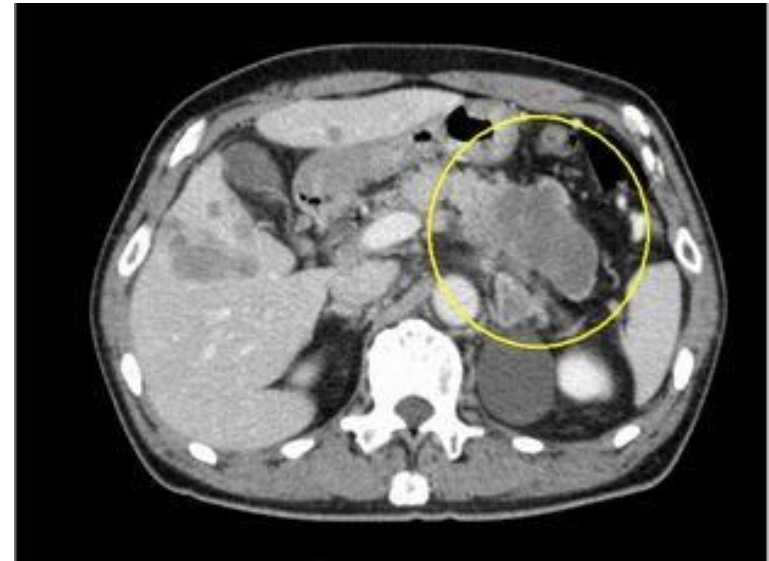
- ・人間ドックやクリニックでも可能な検査で負担が少ない
- ・最初に異常を発見する(スクリーニング)検査として最適



(造影)CT検査

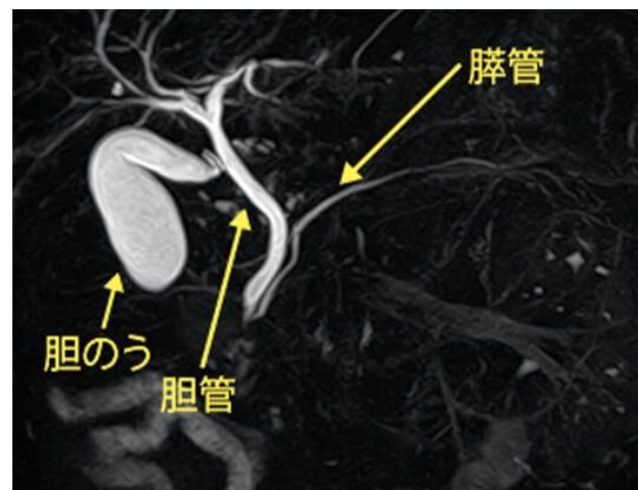


- 造影剤を注射して撮影することで腫瘍やがんの診断や広がり（浸潤）、転移の発見に役立つ
- 短時間(5分程度)
- 被爆を伴うが体への害は少ない
- 造影剤が使えない場合(アレルギー、じん臓病)がある



MRI検査

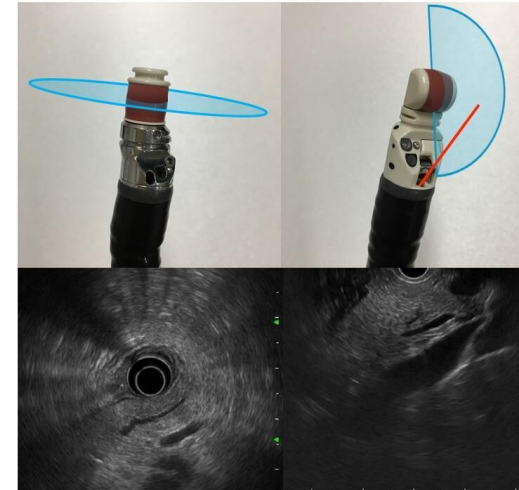
- 被爆のない検査
- すい管を抜き出して撮影し、すい臓がんの早期発見に役立つ(MRCP撮影)
- 撮影に時間がかかる(20～30分)
- 磁石を利用した検査のため心臓のペースメーカーや、体内に金属がある場合に検査できないことがある
- 狭いところに入るため閉所恐怖症の人には不向き



MRCP

超音波内視鏡検査 (EUS)

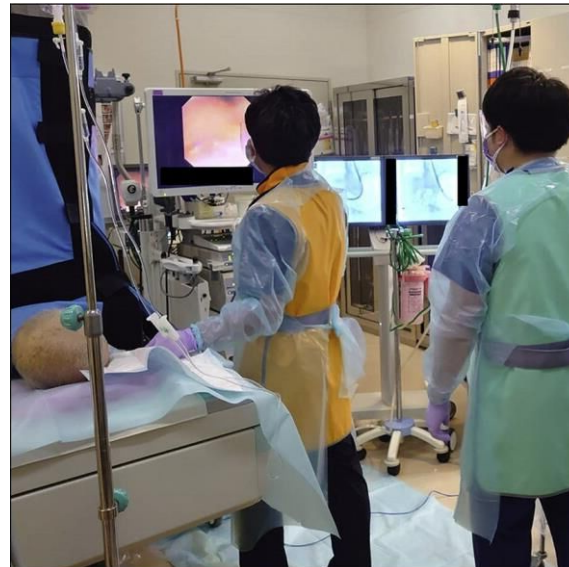
1. 内視鏡の先端に超音波(エコー)があり、胃や十二指腸からすい臓を近くで観察する



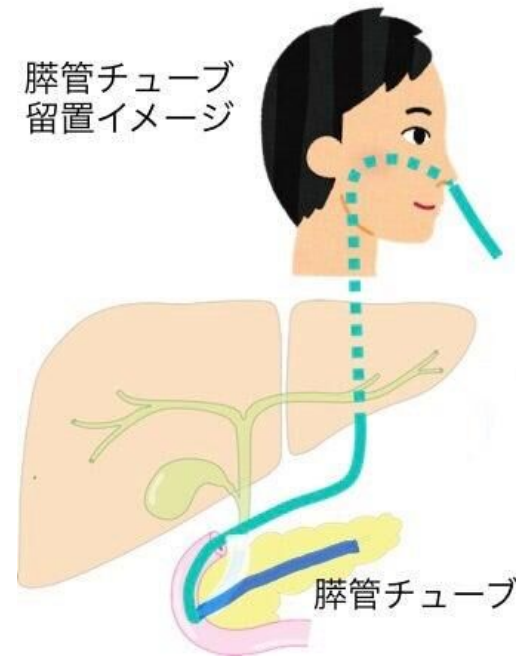
2. 内視鏡の先端から針を出して組織を採取して、がんやその他の腫瘍の診断を行う



内視鏡的逆行性 胆管膵管造影 (ERCP)



膵管チューブ
留置イメージ



1.すい臓の中にカテーテル
を入れてすい管をレントゲン
で撮影する

2.すい液をチューブ
で採取してがん
細胞の有無を調
べる



(すい炎を起こす危険があり入院して行う)

最後に



- **本日挙げた症状のある方や危険因子のある方、健康診断ですい臓の異常を指摘された方は、早めに受診して検査を受けましょう。**
- **すい臓がんは早期に発見することがとても重要です早く見つけることがよい結果に結びつきます。**